

# ふれ愛にほうち



第17号

太田西ノ内病院広報誌・第17号

発行/対太田総合病院附属太田西ノ内病院

編集/太田西ノ内病院広報委員会

発行日/平成17年9月

住所/郡山市西ノ内2丁目5番20号 TEL (024)925-1188

ホームページ: <http://www.ohte-hp.or.jp/>



「会津駒ヶ岳」 撮影 医事課 菅野悠一

## 診療科紹介

## 耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科は、その字のごとく耳、鼻、のど、頸部と首から上の大部分を取り扱います。難聴、中耳炎、眩暈などの耳疾患、花粉症をはじめとするアレルギー性鼻炎、副鼻腔炎（蓄膿症）、鼻出血などの鼻疾患、扁桃炎、いびき、声枯れ、呼吸困難、嚥下障害などの咽喉頭疾患を診療しています。ほかに、頸部の腫れや腫瘍など、首から上の幅広い疾患が対象になります。

近年、患者さんが増加しているアレルギー性鼻炎に対しては、各種薬物療法のほか、レーザーなどの、外科的治療も行っています。ただし、すべての患者さんが適応となるわけではありませんので診察、検査を行って判断しています。

現在、診療は常勤医師4名で行っています。また、週に一度、独協医科大学の平林医師が喉頭疾患、気管食道領域を中心に外来診療を行っています。

外来診療は、月曜日から土曜日までの午前中で、午後は、手術あるいは検査や特殊な処置などのため、外来診療はやっておりません。手術などの入院治療が必要な場合、その緊急度に応じて予定を組んでおりますが、多くの患

者さんがいらっしゃるため、日にちの指定をお受けできないことや、待ち日数が多いなどご不便をおかけしております。安全と公平を第一に考えておりますのでご理解いただきたいと思えます。

当科は、郡山市内をはじめ、県内の多くの医院、病院と連携しております。セカンドオピニオンのご希望、通院の便を考慮しての紹介などは、気軽にご相談ください。

我々スタッフは、愛と正義をモットーにスタンダードな診断、治療を心がけております。

（耳鼻咽喉科部長 佐藤和則）



耳鼻咽喉科スタッフ

# 西ノ内見聞録

## 3A病棟

患者様の思いに沿った  
看護の実践



3A病棟スタッフ

3A病棟は5号館の3階にありベッド数は29床です。平成14年4月にCCUが独立し、一般病床は3A病棟と4A病棟に分かれ循環器センターとして開設され3年目を迎えました。

スタッフは、循環器科医師8名、心臓血管外科医師3名、看護師21名、ナースエイド4名です。

病棟の特徴として緊急入院が多くを占

め、心臓血管外科では生命に関わる重篤な状態のケースも多く、迅速な救命処置が行われます。又継続したモニター監視や患者様の刻々変化する状態の観察が必要とされている病棟です。

入院患者様は主に循環器科では心筋梗塞・狭心症・重症心不全などです。また心臓カテーテル検査による経皮的冠動脈形成術・不整脈の治療で、高周波カテーテルアブレーションを目的に入院する患者様も増えてきています。心臓カテーテル検査・治療に関しては、クリニカルパスを導入し実施しております。心臓血管外科は開胸、開腹の手術を目的とした患者様が多く、3A・CCUとワンフロアで術前・術後の管理を行うことで患者様も安心して手術に望むことができると考えています。

緊急カテーテル検査は24時間体制の為、看護師は待機制を導入していますが、拘束による精神的負担があります。今年の4月には長年の要望である男性看護師が3名配属され、今後CCU・心臓カテーテル検査担当として期待を担っています。

私たちの3A病棟は明るく、元氣なスタッフの多い病棟です。これからも笑顔を絶やさず、患者様の声に耳を傾けて、患者様の思いに沿った看護を実践できるように日々努力していきたいと考えております。

(星美穂子)

ここでは、西ノ内病院の各病棟・外来・その他さまざまな部署に潜入し、その全容にせまってみたいと思います。

## CCU

安全で安心できる看護



CCUスタッフ

CCU（心疾患集中治療室）は、5号館3階にあり、3A病棟のナースステーションに隣接しています。平成14年に5号館開設と共に、循環器センターとして独立し3年目を迎えました。CCUのユニットは4床です。スタッフは、循環器科医師7名、心臓血管外科医師3名、看護師14名、3A病棟との兼務のナースヘルパー1名、ナースエイド3名です。

CCUは、医師と看護師が常時待機している救急チームで病態のモニター、治療に要する医療機器と救急薬剤を配置したユニットです。救急の患者様の受け入れ体制と、院外の救急体制との連携を図っています。

CCUには循環器科では、急性期の心筋梗塞と狭心症の心臓カテーテル検査、治療後、重症心不全、高度な伝導障害、重症不整脈、大動脈解離など。心臓血管外科では、開胸開心術後、開腹の人工血管置換術後、血管の全身麻酔手術後の患者様が入室します。その為最新の医療設備を整え高度な治療を行うため、一刻の猶予も許されません。私たち看護師も高度な知識と技術、迅速な対応が要求されます。また患者様は、生命の危機に対する極度な不安や、恐怖、CCUという拘束された特殊な環境下に置かれることでの、不安や睡眠障害、せん妄などに陥りやすく看護師は迅速な判断、対応が必要とされます。

このように高度な知識と技術、迅速な対応が要求され多忙なユニットではありますが、患者様が安心して治療が受けられ、1日も早くCCUを退出できるように「安全で安心できる看護」を、提供していきたいと思っております。また「笑顔」を忘れず、言葉かけを多くするよう努めています。

(白石君子)



## リハビリがとれない時、 言葉で「コミュニケーションが取れない時」、 あなたは誤解していませんか？

今回は大人の言語障害についてお話します。大人の言語障害には、高次脳機能障害（記憶障害や注意障害）によるコミュニケーション障害、痴呆によるコミュニケーション障害、失語症、構音障害、音声障害（喉頭摘出後や嗄声）などがあります。今回は、その中でも特に多くみられる失語症と構音障害についてお話しします。

まず、失語症は、一般的に「言葉」が話せなくなると思われていますが、実際は聴く、話す、読む、書く、計算する能力が障害され、例えば、目の前にある物が「りんご」と頭の中でわかっていても「みかん」と誤って言ってしまう、「あれ、あれ」と言い、なかなか言葉が出てこない、言われた内容の意味が理解できない、などの複雑な症状がみられます。

一方、構音障害とは、舌や唇が麻痺などのために発音が上手に出来なくなることをいい、重度になると声を出せない方もいます。しかし、失語症と異なり、言いたい言葉を思い出せない事はありません。

このような方々はコミュニケーションがスムーズに取れず、痴呆と間違われる事がありますが、言葉が不自由になっても、子供の能力に戻ったわけではありません。病前と変わらず、大人としての知能や判断力は保たれています。

失語症の方と構音障害の方では各々異

なった症状であるため、コミュニケーションの方法も異なります。失語症の方には話せないからといって50音表を使う方がいますが、その方法はご本人にとって一番負担になってしまいます。それよりも、ご本人の能力に合った方法（実物、写真、絵カード、文字、身振り、など）が有効的です。また、言葉の理解が難しい方もいるので、話しかける時は短い言葉でゆっくり話しかけるようにするとよいでしょう。一方、構音障害の方は発音が難しいため、ご本人に話す速さをゆっくりにしていただいたり、発音が難しい音を50音表で示してもらおうなどの手段が大変有効です。しかし、様々な症状を併せ持つ方も多く、最終的には、患者さん一人一人に合わせた対応が必要となります。

以上の症状でお困りの方やそのご家族の方は主治医までご相談下さい。

（言語聴覚士 鈴木裕子）



訓練場面

## 放射線がとれない時

## MR検査 何が出来る...

① 頭部の血管像や血流情報が、造影剤を用いず得られます。(CTでは血管を見る場合、造影剤が必要ですし、X線による被曝もあります)



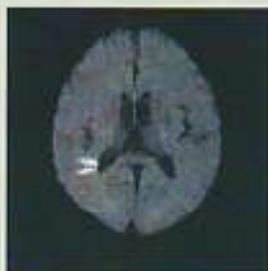
これは脳のMRA (MR アンジオグラフィ) です。

さらに、造影剤なしで胆のう、胆管、膵管を描出できます。



胆のう内に胆石が複数個見えます。

② 急性期の脳梗塞を見つけることで、早期に治療を開始することができます。



白い部分が新しい梗塞です。

③ 交通外傷などで四肢麻痺があった場合

合、MRは脊髄の状態を画像化できるので、損傷状態が一目瞭然。



脊髄内に白い損傷部分が見られます。

しびれとか麻痺とかの原因となっているヘルニアの画像も撮像できます。



矢印の部分の椎間板が飛び出しています。

④ 膝の半月板の状態がわかります。



矢印の部分半月板が損傷しています。

こんなにいろいろな画像が撮像できます。このほかにも多彩な撮像が、でも一台しかないのです。予約の待ち日数長くありません。

（佐竹 正規）

# 緩和ケアチーム七夕会に寄せて

去る7月2日(日)午後、緩和ケアチームによる少し早めの七夕会が催されました。緩和ケアチームでは様々な治療中(入院・外来)の患者様の心身の苦痛・疼痛の緩和に努め、寄り添い、希望のある緩和ケアを目指して活動していきたくと考えています。メンバーは緩和医療・緩和ケアを学びたい各病棟・他部門からの自主参加です。七夕会は昨年に引き続き2回目になりました。会場の都合もあり、長期に療養されて病床から離れられなかった方、車椅子介助の方(約40名)、起き上がるこ

とが困難でベッドごと参加された方等病棟の協力と、学生のボランティアの協力を得て職員と合わせて総勢100名の方の参加を得ることができました。病棟で短冊に夢・希望の願いを書いて頂き、みんなで折った飾りを会場入り口いっぱい飾りつけました。司会者が浴衣姿で雰囲気盛り上げ、まずNPO法人の語り部 降矢広子様から「羽衣伝説」を柔らかい東北弁で語っていただきました。次いで職員のピアノ・フルートの演奏に合わせてみんな

で「涙そうそう」など口ずさみ心静かな時が流れました。

その後、ご婦人の介護の経験をお持ちでご自身も通院中と言われる村上茂様(昨年のだ自慢全国大会出場)の美声をご披露いただきました。お年とは思えぬ声量と気持ちのこもった唄に会場では涙する方も見られました。村上様から「一緒に頑張りましょう」との

言葉や、会場から「一曲やらせて下さい」と飛び入り、祝詞の詩吟が披露され会場は一体となりました。

その後、「病氣に対して前向きになりました」とのご意見も頂きました。緩和ケアチームではこれからも皆様の思いをチームメンバーが受け取れるよう耳を傾け前向きに一緒に「緩和ケア」に取り組んでいきたいと考えています。

(看護部緩和ケアチーム 大越たか子)



# 彩食健美

## レモンのソーダゼリー



### 【材料】(4人分)

レモン	小2個	※炭酸水の代わりにサイダー等を使用する場合はグラニュー糖を控えてください。
粉ゼラチン	10g	
グラニュー糖	30g	
白ワイン	30ml	
炭酸水	200ml	
ミントの葉	適宜	

(1人分) エネルギー 57kcal たんぱく質...2.5g

### 【作り方】

- ①レモンの皮を厚めにむき、果肉から白い部分をできるだけ除き、5cmの厚さの輪切りにする。
- ②鍋に水350mlとレモンの果肉を入れ、火にかけて沸騰したら弱火にし、アクをとりながら約20分間静かに煮る。
- ③粉ゼラチンは大きじ2杯の水でふやかしておく。
- ④②をこし、250mlを計りボウルに入れ、熱いうちにグラニュー糖と③のゼラチンを加えとくす。
- ⑤④に氷水をあてながら静かに混ぜ、冷えたら白ワイン・炭酸水を加える。とろみが付いたらパットに流して冷蔵庫で3〜4時間冷やす。
- ⑥⑤をスプーンでくずし、器に盛り付けミントの葉を飾る。

ちょっと疲れている時にはほんのり酸味のきいた、さっぱりとしたゼリーが疲労回復に役立ってくれます。レモンにはビタミン・ミネラルなどが豊富に含まれています。特に、ビタミンCの量は柑橘系の中でもトップクラス。風邪予防や肌のトラブルに有効なビタミンCは肝臓の働きを活発にするため、二日酔いにもおすすめです。また、レモンの酸味はクエン酸が主成分なので代謝をスムーズにし疲労回復に効果があります。白ワインで風味をつけたレモン水に炭酸水を加えた、独特な食感のゼリーです。ぜひ、お試しください。



渡辺クリニック



よしだこどもクリニック



坂本クリニック



# オープンシステム 情報ネットワーク

太田西ノ内病院では、患者さんに質の高い医療を受けていただくために、開業医の先生方と連携をむすんでいます。ここでは、太田西ノ内病院オープンシステムの登録医療機関、登録医師のご紹介をしていきます。

## よしだこどもクリニック

所在地 / 〒969-1101  
安達郡本宮町大字高木字平内67-15  
電話 / 0243-34-6418  
FAX / 0243-63-2565  
診療科 / 小児科  
休診日 / 木曜午後・日曜・祝祭日  
診療時間 / 月・火・水・金曜日  
午前8:30～12:00  
午後2:00～6:30  
木曜日  
午前8:30～12:00  
土曜日  
午前8:30～12:00  
午後2:00～5:00



院長 吉田 和夫

昭和61年3月 福島県立医科大学卒業  
昭和61年4月 福島県立医科大学小児科入局  
平成9年10月 よしだこどもクリニック開業



吉田和夫先生とスタッフのみなさん

できるだけ小児の1次医療全般ができるように努力しておりますが治療に苦慮するお子さんもあり、病診連携にて対応していただきご家族の方にも納得していただける医療を提供することができています。今後もご支援のほど宜しくお願い申し上げます。



### 登録医がい

郡山市の北隣の本宮町に開業して7年が経ちました。本宮町は行政区分が県北に属しますが、小児医療に関しては郡山の医療圏であり、多くの子供たちが市内の医療機関でお世話になっております。開業した7年前は郡山市との間で交通渋滞が激しかったのですが、現在では立派なバイパスが開通し交通もスムーズとなり、郡山市がさらに身近なものとなりました。

# 渡辺クリニック

所在地/〒969-1101  
安達郡本宮町大字高木字高木19-5  
電話/0243-34-3311  
FAX/0243-34-3318  
診療科/胃腸科・外科・内科・肛門科  
休診日/木曜、土曜午後・日曜・祝祭日  
診療時間/月・火・水・金曜日  
午前9:00～12:00  
午後3:00～6:00  
木・土曜日  
午前9:00～12:00  
往診・訪問診療/寝たきり在宅総合施設、往診、訪問診療いたします。



渡辺英夫先生とスタッフのみなさん

院長 渡辺 英夫  
昭和47年 福島県立医科大学卒業、同第2外科入局  
昭和54年 社会保険一本松病院勤務  
昭和63年 渡辺クリニック開業

当クリニックは昭和63年9月本宮町の阿武隈川沿いに開業し17年となりました。職員は看護師4名事務員2名です。診療所の医療活動は地域中核病院の存在なくしては成り立ちません。今では各病院に地域医療連携室が創設され、病診連携特に患者さんの紹介に際しては格段にスムーズに行われるようになってきました。

私は日頃より地域の方々よろず医療相談、気軽に話せる町医者としての役割を大切にしてきました。開業当初より往診の依頼が多く、訪問看護師さんやケアマネージャーの方々と協力して対応しております。

インフルエンザなどが診断可能となり、肺炎球菌ワクチンやメタボリックシンドローム、更には禁煙プログラム等々予防医学がすすみ診療所に対応する疾患も変わってきました。

プライマリケアとしての役割も以前に増して重要となり、良心的な医療を心がけ生涯一町医者を目指して精進するつもりですので宜しくご指導のほどお願い申し上げます。

地域医から

# 坂本クリニック

所在地/〒969-1151  
安達郡本宮町字千代田56-1  
電話/0243-34-1188  
FAX/0243-34-3551  
診療科/胃腸科・小児科  
休診日/水曜午後、第2、4土曜午後・日曜・祝祭日  
診療時間/月・火・木・金曜日  
午前8:30～12:00  
午後2:00～6:00  
第1、3、5土曜日  
午前8:30～12:00  
午後2:00～5:00  
水曜、第2、4土曜日  
午前8:30～12:00  
往診、訪問診療/往診のみ  
その他/健診、予防接種、在宅酸素療法



坂本輝明先生とスタッフのみなさん

院長 坂本 輝明  
昭和44年 福島県立医科大学卒業  
昭和46年 福島県立医科大学第2内科入局  
昭和50年 4月～51年3月 太田病院(現太田記念病院)消化器科勤務  
昭和54年 福島県立本宮病院内科勤務  
平成5年 坂本クリニック開業

当クリニックは平成5年10月、国道4号線沿い本宮一中入り口に開業して12年になります。県立本宮病院に14年間勤務後、地域住民の方々の暖かい励ましとスタッフの協力で現地に開業し現在にいたっております。26年の長い年月によりおのずと患者さんの家族背景もわかるようになり診療に役立っています。大学の医局時代は消化器のX線診断を研究しました。胃内視鏡、腹部超音波、胸部X線検査なども行っておりますが、特にX線検査の利点を生かした消化器診断に力を注いでいます。勤務医時代とは違って患者さんは赤ちゃんならお年寄りまで幅ひろく、ホームドクターとして、最善の診療はなにか、当クリニックで対応できない方、入院加療が必要な方については、患者さんの希望を聞き紹介させて頂いております。西ノ内病院各科の先生方、スタッフの方々にはいつでも暖かい対応をしていただき感謝しております。今後ともよろしくお願いたします。

地域医から

# ★21世紀の申し子たち★

太田西ノ内病院で生まれた赤ちゃんを毎回紹介していきます。

質問

- ①生まれた時の感想
- ②子どもに願うこと
- ③ご両親の決意を一言

データ

やまもと あい  
**山本 亜依**ちゃん

●平成17年5月30日  
16時31分生まれ

●体重2750g

●父：山本 芳明さん  
母：山本真理子さん



亜依ちゃんとお母さん

- ①無事に生まれてくれて良かった。
- ②人に思いやりのもてるやさしい子供、何でも積極的に取り組む子供
- ③子供達に自分の行動を見て、育っていく目標になれる様に努力していこうと思いました。

データ

せんざき まな  
**先崎 麻菜**ちゃん

●平成17年5月24日  
9時35分生まれ

●体重2350g

●父：先崎 学さん  
母：先崎 久美子さん

せんざき みな  
**先崎 深菜**ちゃん

●平成17年5月24日  
9時36分生まれ

●体重2480g

●父：先崎 学さん  
母：先崎 久美子さん



麻菜ちゃん、深菜ちゃんとお母さん

- ①感動しました。
- ②健康でのびのび育ってほしい。
- ③母になったのだから、責任をもって育てていきたい。

## 投稿募集

太田西ノ内病院広報委員会では皆様からの原稿・写真等を募集しております。今後の広報誌に掲載してほしいものがありましたら、広報委員会までご連絡下さい。

**太田西ノ内病院広報委員会**

委員長 須田 秀一

委員 遠藤めぐみ・朝倉 俊成  
後藤 桂子・松田美津子  
荒川 幸徳・木原 均  
鈴木 理恵・新里 昌一  
中嶋 健起  
佐藤 浩徳(幹事)

○「ナシ」だということである。(佐藤浩徳)

ただ、ひとつだけはっきりしているのは、何もしない(現状維持)のは「ナシ」だということである。

○当院でもさまざまな改革が進行中である。「安全管理」「サービス向上」「経費節減」「職員教育」…次々と課題が挙げられ改善へ向けて委員会を設置したり、研修を実施したり。また各部署での勉強会も頻繁に行っている。それがどれほど効果があるのかわからないが、皆必死で取り組んでいる。病院改革もまた容易ではない。

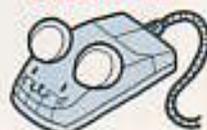
○「若貴時代」の栄華は遠い昔となり、くしくもその若貴の「お家騒動」が相撲人気の衰退を象徴する結果となった。角界改革も容易ではない。

しかし、いくら人気がほしいとはいっても現役横綱がTVのCMにでるってあり？

○「若貴時代」の栄華は遠い昔となり、くしくもその若貴の「お家騒動」が相撲人気の衰退を象徴する結果となった。角界改革も容易ではない。

しかし、いくら人気がほしいとはいっても現役横綱がTVのCMにでるってあり？

## 編集後記



○小泉総理の大願成就ならず。「郵政民営化」否決で政界は大荒れとなった。ついには、新党が発足し「ホリエモン」まで登場した。「白票」か「青票」か

か若洪の選釈を強いられた議員も多かったと思う。政治改革は容易ではない。しかし、いかにむずかしいとはいっても「棄権」ってあり？